

令和5年度

木祖村教育委員会点検・評価報告書

木祖村教育委員会

## 令和5年度 木祖村教育委員会点検・評価報告書

1	教育委員会関係	3
2	学校教育関係	5
	(1)学級編成、児童生徒の状況	5
	(2)通学対策	6
	(3)就学援助費	6
	(4)学校給食	6
3	社会教育、公民館関係	7
	(1)社会教育・公民館関係の会議、行事一覧	7
	(2)公民館学級講座実績	7
	(3)木祖村型コミュニティスクール	8
	(4)青少年健全育成関係	9
	(5)読書活動推進関係	9
	(6)芸術文化関係	9
	(7)二十歳を祝う会関係	9
4	社会体育関係	10
	(1)社会体育関係会議等	10
	(2)スポーツ団体等	11
	(3)社会体育施設利用状況	11
	(4)スポーツ大会・教室等	12
5	文化財保護事業関係	12
	(1)文化財保護審議会	12
	(2)木祖村郷土館	12
6	木祖村放課後児童クラブ事業関係	13
7	とちのみ保育園関係	15
8	子育て支援センターみやのもり関係	16
9	教育委員会関係委員名簿	18
10	公民館・社会教育・社会体育関係事業一覧	19
	○木祖村教育委員会・公民館学級講座（社会教育）	19
	○木祖村教育委員会・公民館学級講座（社会体育）	20
	○木祖村教育委員会・公民館学級講座（すくすく倶楽部）	21

## 1 教育委員会関係

(現状・評価)

教育委員会では、令和5年度において11回の定例会議を開催し必要事項を審議、決定し責務を果たしてきた。

定例教育委員会は、小学校、中学校へ各2回の教室訪問（授業参観）及び給食試食のほか、行事参観を行うなど学校における児童生徒の様子や教職員と子ども達が関わる様子を直接見ることが大切にしてきた。併せて保育園でも保育の様子を参観する機会を設けることが定着し現場を直接知ることができて良かった。

校長の参加について適宜要請し、子ども達や教職員の様子、運営上の課題等について情報交換すると共に指導の方向について確認し合えるようにしてきた。保育園での開催時には園長とも同様の話し合いができて良かった。

総合教育会議は保護者参観日に合わせて実施し、村長が保護者からの意見要望を聴取できる場として実施できたことは良かった。本年度は中学校保護者を対象に行った。

就学相談アドバイザーが住民福祉課保健師、保育園、小中学校及び放課後児童クラブと連携した就学支援体制をサポートする形で位置付き、不登校生への対応も含めて関係部署で対象生を理解すると共に保護者への理解を促すことに大きな成果を上げている。アドバイザーのほか、小中学校には支援員や教科指導講師の配置が今年度も継続でき、教育的効果を高めるに至っているとの声が学校現場から上がっていることは一つの教育的成果ととらえることができる。

月1回のあいさつ運動も、民生児童委員の協力をいただきながら定着し高まりを見せている。総合型スポーツクラブも産声を上げ、課題を抱えながらも動き出したことを評価したい。

「学校は子ども達だけではなく大人も学べる所」という捉えに立ち、もいちど小中学校、すくすく大学事業を展開し、子どもも大人もともに学び合いながら、多世代交流の推進を高めることができた。子どもたちの実際の様子にはじまり、現場を見ることを大切にしてきた。

病児・病後児保育について、実施に向け長野市と上田市の施設の視察を行った。実施方法等の課題を整理し検討を進めたい。

(課題)

部活動の地域連携、地域クラブ活動への移行について、子ども達が満足できる態勢づくりを整備したい。

今後ますます進む少子化に対応する学校運営のあり方や、築40年余となる校舎の方向性等について検討する「木祖小、中学校あり方検討準備会」の立ち上がりを契機に今後のビジョンを具体化していきたい。

地域住民が直接学校や子ども達に関われる場をさらに増やすための弾力的なコミュニティスクール運営のあり方等について、具体化できる事業を検討していきたい。

立ち上がった総合型地域スポーツクラブの運営がより順調に推進するような支援体制を構築していきたい。

小中の連携はもとより、保小との連携が一層推進できるような支援体制を現場の職員と相談する場を設け具体化していきたい。

(定例会)

定例会の開催日と場所、また定例会に合わせて参加した行事等については次のとおりです。

開催日	開催場所	その他内容
4月21日	小学校	条例委員の承認
5月24日	役場 他	小中教委合同研修会 すくすく大学体験参加
6月30日	小学校	音楽会参観
7月19日	中学校	教室訪問、給食試食、中学校長参加
8月31日	小学校	教室訪問、給食試食、小学校長参加
9月29日	中学校	おおとり祭参観
11月16日	中学校	平和と人権学習会 映画「アオギリにたくして」上映会
12月20日	小学校	教室訪問、給食試食、小学校長参加
1月19日	とちのみ保育園	保育参観、給食試食、園長参加
2月19日	中学校	総合教育会議、中学校保護者
3月15日	役場	令和5年度末教員人事異動確認、小学校卒業式

## 2 学校教育関係

(現状・評価)

小学校・中学校は、それぞれ児童生徒の発達段階を見通しての教育目標を掲げ運営をしてきた。目標の中でコミュニティスクールとの連携について「人・もの・こと」との関わりを大切にすると共に共通に明示し、具現を目指している。

地域と共にある学校を見据えたコミュニティスクール組織との連携を継続的に進めるために、学校評議員とコミュニティスクール運営委員との合同会議（懇談会）を開き、より目的に合った方向を見出すようにしてきた。

GIGA スクール事業で配備した1人1台端末の活用も進み、学校における授業と家庭での学習の両面で日常的に使用されている。

学校評価を年間計画に位置づけ、結果については学校便りや校長講話による公表を積極的に行いPDCA サイクルに基づき向上に努めている。

不登校生への対応の仕方について対象生、保護者に加え外部機関との連携を密にしながらか組を継続している。

学校施設の老朽化と少子化が進む中どのような学校運営を目指すのか、これからの小、中学校のあり方について検討を始めるため令和5年度「木祖小、中学校あり方検討準備会」を設立し、取り上げる内容や組織について検討を行い令和6年度に「木祖小、中学校あり方検討会」を設立することになった。

(課題)

児童生徒数が減少する中、現況に応じ県費職員を確保するなど学校や県教育委員会の力を借りながら最大限の教育条件を整えたい。

村費加配の支援員や中学校の数学、英語講師についても継続配置できるよう学校とも連携しながら人材の確保に努めたい。

長期欠席傾向の児童生徒には、家庭はもとより、外部機関とも連携しながら、ねばり強く継続的に向き合い義務教育修了後の進路が具体的に選択できるように導きたい。

今後ますます進む少子化の中でどのような学校運営を目指すかは大きな課題である。村の実情に適った学校のあり方を検討したい。

### (1) 学級編成、児童生徒の状況 (令和5年5月1日 学校基本調査より)

木祖小学校					木祖中学校			
学年	学級数	男	女	計	学級数	男	女	計
1 学年	1	2	6	8	1	9	12	21
2 学年	1	8	14	22	1	10	8	18
3 学年	1	6	7	13	1	7	12	19
4 学年	1	8	8	16	/			
5 学年	1	6	14	20				
6 学年	1	7	13	20				
特別支援	2	5	2	7	2	2	0	2
合計	8	37	62	99	5	26	32	58

前年比-15

前年比+1

## 小・中学校児童・生徒数の推移と見込

(R6. 6. 1現在)

比率は対令和4年度比

区分	年度	4	5	6	7	8	9	10	11
	学年								
小学校	1	22	8	16	18	10	9	7	9
	2	13	22	8	16	18	10	9	7
	3	17	13	22	8	16	18	10	9
	4	20	16	13	22	8	16	18	10
	5	20	20	16	13	22	8	16	18
	6	22	20	20	16	13	22	8	16
	小計 人	114	99	95	93	87	83	68	69
	比率 %	100.0	86.8	83.3	81.6	76.3	72.8	59.6	60.5
中学校	1	18	21	18	20	16	13	22	8
	2	19	18	21	18	20	16	13	22
	3	20	19	18	21	18	20	16	13
	小計 人	57	58	57	59	54	49	51	43
	比率 %	100.0	101.8	100.0	103.5	94.7	86.0	89.5	75.4
小中学校 総合計 人	171	157	152	152	141	132	119	112	
全体比率 %	100.0	91.8	88.9	88.9	82.5	77.2	69.6	65.5	

- 小学生、中学生ともに減少傾向にある。
- 令和8年度以降は1学年10名前後での編成が見込まれる。

## (2) 通学対策

小木曾・菅地区の児童生徒のスクールバスによる通学を援助するため、スクールバスの運行委託費用として小学校8,066千円、中学校7,897千円を支出した。また、スクールバスの運行経路が確保できない児童について、「たんぼぼ号」で通学の足の確保を行っている。

## (3) 就学援助費

準要保護児童・生徒世帯に合計408千円を扶助した。

## (4) 学校給食

木祖村学校給食センターで小・中学校児童・生徒・教職員に対し、栄養士1人、調理員5人体制で給食を実施した。

児童・生徒のより一層の安全安心確保の観点から、給食食材について、長野県学校給食安心安全対策事業を実施した。地産地消事業として、地元産米の提供や生産者グループ「愛菜」や「きそむら道の駅」と連携し、地元産野菜を給食食材に提供している。

なお、令和5年度から第3子以降の給食費を無償とし2,138千円を、また令和4年度以降続く物価高騰に伴う給食費の不足分への公費負担を継続し1,430千円を支出した。

### 3 社会教育、公民館関係

#### (現状・評価)

昨年度まで新型コロナウイルス感染拡大予防のため、また社会教育の根本でもある「人が集う」社会教育の機会を止めないために、開催規模の縮小、開催方法の変更などの措置を講じてきた。今年度、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、コロナ禍以前と同様とはいかないものの、徐々に参加者も戻りつつある状況となった。

社会教育計画に示されている「趣味・特技の向上や木祖村の自然・歴史・文化等を学ぶ学級講座の開講」「子どもから高齢者まで気軽に参加でき、村民同士が触れ合える行事の開催」の主旨に沿った内容で実施した。

文化祭はコロナ禍の教訓から感染対策を講じて実施し、昨年度同様に芸能祭を社会体育館で展示会と同時開催した。

源流図書館は開設15年目となり、前年比では貸出冊数112.1%、来館者数119.9%(令和4年度：貸出冊数103.5%、来館者数80.3%)と共に増加となった。また、電子媒体で図書を提供する「デジとしょ信州」事業により、個人のパソコンやスマートフォンで読書を楽しむことができるようになった。

#### (課題)

今年度もコロナ禍によってこれまでの課題であった参加者の減少や固定化、男性や若年層の参加率の低さがさらに深刻なものとなってしまった。そのため、小中学生が参加するすくすく倶楽部と共催し、子どもと高齢者の交流だけでなく、子どもの親世代が社会教育に触れる機会を増やす多世代交流を進めることで将来的な参加者の維持に繋げていきたい。

分館においては、わら原分館の委員の成り手不足などの問題を解消するため、わら原分館と藪原分館の統合について、検討を重ね令和6年4月より統合することとなった。この問題は引き続き、わら原分館に限らず、村全体として考えていくべき重要課題であることに変わりない。

源流図書館については開館以降、依然として来館者数の地域差が非常に大きく、利用の少ない地域から来ていただくことが継続課題である。しかし、新型コロナウイルス感染症の5類移行後は貸出冊数及び来館者数共に増加傾向となり今後も図書館への関心を引き寄せる機会を増やし身近な図書館づくりを進めていきたい。

#### (1) 社会教育・公民館関係の会議、行事一覧

今年度も社会教育委員、公民館分館運営委員を中心に各種研修会への参加や交流会を通じて各委員の資質の向上に努めた。また公民館主催行事への運営に協力をいただいた。

令和5年度 社会教育、公民館関係の主な会議・事業一覧

月 日	会議・事業名	開催場所	参加者数
4月14日	公運審・正副分館長主事合同会議	木祖村役場	15
4月18日	木曽郡公民館運営協議会 定期総会	南木曽町公民館	2
6月7日	中信地区社会教育委員連絡協議会総会及び研修会	総合教育センター	2
6月19日	木曽郡社会教育委員連絡協議会定期総会及び研修会	木曽町役場	4
8月12日	木祖村二十歳を祝う会	村民センター	32
9月24日	第62回木曽郡公民館大会	日義公民館	13
9月28～29日	第45回全国公民館研究集会	長野市	2
	第63回関東甲信越静公民館大会		
	第71回長野県公民館大会		
10月28～29日	第50回木祖村文化祭、芸能祭	村内	756

#### (2) 公民館学級講座実績 (P19参照)

昨年度は1講座の中止はあったものの、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、予定していた14講座のうち13講座を実施することができた。今年度は、コロナ禍以前とはいかないものの昨年に比べ、参加者の微増となった。今年度は、9月に飯山市の高橋まゆみ人形館と木島平村の内山手すき和紙体験工房へ、10月に松代象山地下壕、上田市無言館と2回の視察研修を実施し、人権、平和学習と文化芸術に触れる機会となった。また、11月には中学校との共催による映画「アオギリにたくして」の上映会を開催し87名の参加があった。また、新規講座として、絵画入門講座を開催することができた。昨年度からの継続講座の農業体験教室、音楽教室、陶芸教室などが人気の講座となっている。

### (3) 木祖村型コミュニティスクール

#### (現状・評価)

学校は子ども達の教育を向上させる場であると同時に地域社会の大人達が学ぶ場でもあるという考えに立脚して、コミュニティスクール (CS) の意義が深まりを見せている。

公民館長をコーディネータと位置づけ、できる限り学校側に負担がかからないように支援者依頼など配慮して活動をしている。大人が学校に出向いて行う支援、参観、子どもたちの活動、給食試食などの形態で実施している「もいちど小中学校」事業が推進でき参加者の満足感にもつながったと評価できる。また、中学生が地域へ出向き、公民館講座やサークル活動を大人たちと一緒に楽しむ「すくすく大学」事業は、およそ 20 講座が開設され、好きな講座を選択する中学生と大人双方との充実度を深めることができた。CS 活動は、子ども達と大人の満足感を高める多世代交流推進事業という色合いが強まりつつあることは評価できる。また、村の将来を見据えた活動として、既に長期間に渡って実施している地域人材活用の藪原祭りやお六楡指導に加え、子ども達が将来直面する職業選択の一助になればという願いのもとに実施している事業所説明会 (キャリアデー) や事業所体験学習への参加意欲が年々高まりを増していることも評価できる。子ども達のためならば一肌ぬいで支援しよう、できることがあったらしてみようという地域社会の理解が増していると評価できる。

#### (課題)

今後、少子高齢化がさらに進む中で、学校支援ボランティア人材をどのように確保していくかは大きな課題である。その中でも CS 活動について理解でき、協力を惜しまない若い世代の参入を考えていきたい。

もいちど小中学校事業のように気軽に参加できる企画運営を考えたい。

子ども達のため、学校のためにとという参加の仕方が、実は大人本人の楽しみにもつながり、生きがいつくり気付けるような企画運営を心がけたい。その意味ではすくすく大学の充実は、最も良い事業事例になると考えるので、今後も公民館講座、各種サークル活動の主催者とも情報交換を密にしながら連携を深めていきたい。

#### (主な実施事業)

・社会見学ボランティア ・陶芸教室活動 ・農業体験 ・朗読ボランティア ・校庭草取り作業ボランティア ・おおりの時間への指導参加 ・地元事業所を知るキャリアデー協力 ・事業所職場体験学習受け入れ ・花壇造営の活動 ・ゲスト講話 ・自主学习見守り ・すくすく大学事業による公民館講座、サークルとの合同活動 ・もいちど小中学校事業 等々

(4) 青少年健全育成関係

7月の県下一斉啓発活動は社会を明るくする運動と合同で行い、JR利用の高校生を対象に啓発活動を実施した。11月の有害環境一斉点検では村内11店舗の小売店・飲食店に協力を呼びかけた。

月 日	会議・事業名	開催場所	参加者数	備考
6月6日	木祖村青少年育成連絡協議会総会	書面開催	—	
7月4日	強調月間 社会を明るくする運動 啓発活動	数原駅	7	啓発物品135部配布
11月10日	強調月間 有害環境一斉点検	村内	2	11店舗

(5) 読書活動推進関係

平成21年に開館した地域図書館を中心に、児童生徒をはじめ村民にも読書活動が高まるよう、図書のみならず生涯学習情報の場として充実を図っている。ここ5年間の貸出冊数と来館者数から、貸出冊数は2,000冊を超える結果となった。来館者数についてもコロナ禍以前の数値に徐々に戻りつつある。また、村外からの利用者も見られるようになってきたが、引き続き村内利用の地域差の縮小に努め、読書活動の推進に繋げたい。

運営状況：平日午後1時～午後6時開館 土日午前9時～午後5時開館、月曜定休日

令和5年度開館日数：287日 利用冊数：一般2,003冊＋中学生4冊

新規利用登録者(累計)数：数原3(208)名、菅2(37)名、小木曾2(125)名、村外1(8)名

計8(378)名

図書館協力員(有償ボランティア)10名程が半日を単位に交代勤務している。

源流図書館貸出冊数

年度	30	元	2	3	4	5
4月	150	130	121	135	173	132
5月	167	122	146	114	154	160
6月	184	141	167	116	110	186
7月	178	200	192	149	169	162
8月	150	155	151	138	104	141
9月	174	156	200	149	151	163
10月	190	149	198	184	159	176
11月	185	140	170	157	210	175
12月	172	161	181	190	181	217
1月	167	120	152	154	156	180
2月	140	87	129	93	82	109
3月	119	149	139	152	142	206
合計	1,976	1,710	1,946	1,731	1,791	2,007

源流図書館来館者数

年度	30	元	2	3	4	5
4月	69	41	27	42	40	36
5月	57	43	44	38	36	42
6月	61	58	72	49	35	39
7月	70	70	66	47	42	45
8月	62	71	54	48	35	44
9月	74	53	71	52	40	52
10月	89	53	65	61	38	47
11月	79	55	57	57	48	46
12月	78	69	59	56	39	51
1月	59	55	55	46	46	56
2月	87	46	55	39	31	46
3月	48	57	53	49	39	58
合計	833	671	678	584	469	562

(6) 芸術文化関係

50回の節目の開催となった今年度の展示会は10月28日～29日の2日間、村内5会場で個人やサークル活動の作品を中心に、公民館・小学生陶芸教室の作品、各分館の企画展示を実施した。今年度もプレゼント付きの「文化祭展示会スタンプラリー」を実施し、昨年に比べ微増ではあるが来場者数756名となった。

芸能祭については、10月28日に社会体育館の展示会場において同時開催で実施し、7団体の各サークル、出演者等が日頃の活動の成果を発表し盛り上がった。

また、今回が50回の節目の文化祭となったため、村づくりミーティングとのコラボ企画で木祖村観光大使「いっせー」こと伊藤一生氏の記念講演会を開催した。

文化祭は日頃の公民館やサークル活動の発表の場として引き続き支援していきたい。そのほか、木曾文化公園自主事業企画実行委員会への運営協力を実施した。

(7) 二十歳を祝う会

令和4年4月に成人年齢が20歳から18歳へ引き下げられたことにより、旧来の成人式のあり方について検討を行い、従来どおりの20～21歳の方を対象に、名称を「二十歳を祝う会」に変更して令和5年8月12日に開催した。コロナ禍以降、祝賀会を取りやめ、来賓は恩師と正副村議会議員のみと大幅に縮小し、式典のみの開催で実施している。

開催日時・場所：令和5年8月12日(土) 午後1時30分～午後2時30分 村民センターホール

対象者：平成14年4月2日～平成15年4月1日生まれの木祖小中学校卒業生および村内在住者17名

出席者：対象者11名、恩師7名、来賓2名、主催12名 計32名

#### 4 社会体育関係

##### (現状・評価)

源流スポーツ大学は、「シェイプアップ教室」、「体力アップ教室」、「ヨガ教室」、「エアロビ教室」、「水中運動教室」を行った。

小学生を対象とした「すくすく倶楽部」については今年度も学校児童の70%以上の登録があった。児童数は減少しているにもかかわらず、参加者は年々増加している。多くの児童が参加し体を動かしたり体験をすることができた。

源流トラッククラブは30名を超える登録者で基礎体力作り、運動能力の向上を目的に活動している。開催された大会には大勢参加することができた。

第65回村内一周駅伝大会が文化の日に開催された。20チームの参加となり、約200人の選手及び競技役員関係者が参集する行事となった。また、体協各部主催の村民体育祭も開催となった。

多くの村民が様々なスポーツをする機会を増やし、スポーツを通じて人との交流ができる環境を整え、いつまでも健康に生活できることを目的に、木祖村総合型地域スポーツクラブが6月7日に設立し、総会及び勝沢勝さんによる記念講演会を開催した。

##### (課題)

これまで挙げられてきた「教室参加者の固定化」「男性の参加者が増えない」「スポーツ団体の構成員の減少」等に善処するために総合型スポーツクラブを設立したことにより、より多くの村民がスポーツ(する・みる・ささえる)にかかわれる機会を増やしたい。

また、中学校部活動の地域移行について、地域の指導者や活動場所の確保が課題となっている。これは郡体協でも問題視されており、総合型スポーツクラブの設立により町村の壁を取り払った課題解決ができることを期待したい。

##### (1) 社会体育関係会議等

今年度も、体育協会については年間計画に沿って役員会等を開催し、その都度各部へ報告や依頼をした。また、郡総体関係についても積極的な参加を依頼し、反省事項等は郡の会議へも報告をした。

##### ○体育協会

令和5年度 体育協会関係会議・事業

月 日	会 議 ・ 事 業 名	開催場所
4月28日	村体育協会代議員会	役場2F大会議室
5月27日	木曾郡体育協会定期総会	上松町
	木曾郡総合体育大会宣言	
9月4日	村体育協会役員会	役場2F大会議室
10月20日	村体育協会役員会	役場2F大会議室
3月14日	村体育協会役員会	村民センターホール
3月16日	木曾郡総合体育大会冬季スキー大会	御嶽スキー場

○村内一周駅伝大会

11月3日(金)、第65回木曾川源流村内一周駅伝大会を開催。当日は20チーム、総勢100名の選手が参加し、「蕨原下町Aチーム」が2連覇を果たした。約100名の大会関係者や村民の皆様のご協力により無事大会を終えることができた。

○社会体育施設使用調整会議

令和5年度 社会体育施設使用調整会議

月 日	会議・事業名	開催場所
7月19日	使用調整会議 (8~11月)	役場2F大会議室
11月29日	使用調整会議 (12~R6.3月)	役場2F大会議室
3月14日	使用調整会議 (R6.4~7月)	村民センターホール

(2) スポーツ団体等

スポーツ団体は体協を中心に21団体が活動をしている。活動は各団体でそれぞれ行っており、教育委員会として相談や依頼を受け対応をしている。

○体育協会 (10種目)

スキー部 野球部 剣道部 射撃部 弓道部 ソフトボール部 バドミントン部  
ゴルフ部 卓球部 マレットゴルフ部

○体育協会以外のスポーツ団体

ソフトバレー愛好会 軽スポーツ同好会 バasketボールサークル フットサルクラブ  
木祖アズールVC (バレーボールクラブ：小学生から大人)

○ジュニアスポーツ団体

学童野球 ジュニアスキークラブ ジュニア卓球クラブ 少年剣道部  
ジュニアフットサルクラブ ミニバスケットボール

(3) 社会体育施設利用状況

○木祖村運動場

定期利用 体協野球部 体協ソフトボール部 学童野球

○社会体育館・弓道場

定期利用 体育協会 (剣道部・弓道部・バドミントン部・卓球部)  
体協以外 (ソフトバレー愛好会・源流スポーツ大学・バスケットボールサークル)  
ジュニア (ジュニア卓球クラブ・少年剣道部・ジュニアフットサルクラブ)  
雨天時のみ (学童野球)  
冬期間のみ (体協野球部・体協ソフトボール部・学童野球)

○学校開放施設

- ・木祖小学校体育館・校庭  
利用団体 (学童野球・軽スポーツ同好会・すくすく倶楽部・ミニバス教室・源流TC・  
低学年運動教室・幼児運動教室)
- ・木祖中学校体育館・校庭  
利用団体 (フットサルクラブ・体協バドミントン部・木祖アズールVC・源流TC)

(4) スポーツ大会・教室等

スポーツ教室については、小中学生対象の教室を中心に開催した。一般村民向けには、健康づくりや身体づくりをねらいとした教室を開催した。また、体協各部の協力により、スポーツの日を中心に村民体育祭を開催した。

○スポーツ教室 (P20参照)

小中学生対象 すくすく倶楽部・源流トラッククラブ

一般対象 エアロビ教室・シェイプアップ教室・体力アップ教室・ヨガ教室・水中運動教室

○村民体育祭

(開催日)

各部主催 バドミントン大会 (10/6) ・卓球大会 (10/6・9) フットサル大会 (10/7)

バスケットボール大会(10/9) ・マレットゴルフ大会 (10/9)

弓道大会(10/20) ・ゴルフ大会(10/29)

5 文化財保護事業関係

(現状と評価)

文化財保護審議会の活動について、県、郡主催の研修会等へ参加したほか村審議会定例会の開催と委員による村内の文化財パトロールを中心に活動を行った。  
また、本年度は委員研修として審議会全体での文化財パトロールを実施した。

(課題)

木曾地域が日本遺産に認定され8年が経過し、今後も文化財を活用した地域振興について様々な角度から観光産業との連携も引き続き進めていく必要がある。

郷土館について、本年度から収蔵品の整理に着手した。本格的な整理は令和6年度になるが収蔵品の整理を進めたい。

(1) 文化財保護審議会

審議会の開催 (1回) のほか研修会への参加や文化財パトロール (グループごとに随時) などを実施している。

【審議会・研修会等】

年 月 日	内 容	場 所
令和5年5月17日	第1回文化財保護審議会	役場
令和5年6月30日	郡文化財保護連絡協議会研修総会	王滝村
令和5年11月6日	県文化財保護研修会	伊那市
令和5年11月21日	村内委員研修	村内
令和5年12月22日	第2回文化財保護審議会	郷土館

(2) 木祖村郷土館

令和5年度の有料入場者数及び入場料は、下表のとおり。

【木祖村郷土館有料入場者数等】

一般	団体	小中学生	合計
300円	200円	100円	
138名	30名	3名	171名
41,400円	6,000円	300円	47,700円

6 木祖村放課後児童クラブ事業関係

(現状・評価)

ここ近年登録人数は横ばいだが、毎日の利用人数は令和3年度より増加傾向にある。中学年、低学年の利用が伸びていることに加え、高学年になっても利用が減らないことが要因。  
 下校時間前に近日の子どもの様子の共有やその日の活動や気を付けたい事項の打ち合わせ、消毒・換気等を行い、安全に過ごせる環境を整えている。また、月1回打ち合わせ会を開催し、子どもの状況確認や行事について協議している。その際、専門のコーディネーターを交えた勉強会も行っている。郡内の定例会では情報交換や学習会を行っている。

(課題)

30人を超える児童が利用する日も多い中、特別な支援を必要とする児童が増えており、支援員としての関わりが難しく負担が大きくなってきている。専門のコーディネーター、小学校との情報交換や相談を定期的に行うなど連携の機会をつくり、より有効な支援の仕方について考えていきたい。  
 また、支援員が少ないことに加え高齢化も課題となっている。

木祖村放課後 児童クラブ利用状況

1. 平成30年度～令和5年度登録児童数

年度 学年	30	元	2	3	4	5
1	11	14	13	9	20	6
2	10	15	13	12	10	20
3	11	11	18	10	12	10
4	6	11	9	13	8	10
5	4	3	10	6	13	7
6	2	5	1	3	6	10
合計	44	59	64	53	69	63

2. 平成30年度～令和5年度開所日数

年度 種別	30	元	2	3	4	5
登校日	204	192	202	203	202	201
長期休	28	39	35	33	34	34
振替休	6	5	1	4	5	4
土曜日	13	15	13	2	4	2
合計	251	251	251	242	245	241

3. 月別利用者数

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
	日数	17	19	21	13	8	19	20	20	17	17	19	11	201
平日	延人数	395	456	531	304	211	462	525	570	467	387	392	256	4,956
	平均人数	23	24	25	23	26	24	26	29	27	23	21	23	25
	日数	3	-	1	7	11	1	1	-	3	2	-	9	38
振替休日	延人数	77	-	11	174	220	9	16	-	41	9	-	157	714
	平均人数	26	-	11	25	20	9	16	-	14	5	-	17	19
	日数	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
土曜日	延人数	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	0	0	5
	平均人数	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	0	0	3
	日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 木祖村放課後 児童クラブ利用状況

### 4. 平成30～令和5年度振替休業日数、児童数

年度	区分	3月	6月	7月	9月	10月	合計
30	日数	1	1	1	1	1	5
	延人数	6	5	2	4	8	25
	平均人数	6	5	2	4	8	25
元	日数	1	1	1	1	1	5
	延人数	6	11	3	17	27	64
	平均人数	6	11	3	17	27	64
2	日数	0	0	0	1	0	1
	延人数	0	0	0	8	0	8
	平均人数	0	0	0	8	0	8
3	日数	0	1	1	1	1	4
	延人数	0	2	0	6	1	9
	平均人数	0	2	0	6	1	9
4	日数	0	1	1	1	1	4
	延人数	0	6	10	5	5	26
	平均人数	0	6	10	5	5	26
5	日数	0	1	1	1	1	4
	延人数	0	11	4	9	16	40
	平均人数	0	11	4	9	16	40

### 5. 令和2年～令和5年度土曜日開所日数、児童数

月	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	日数	延人数	日数	延人数	日数	延人数	日数	延人数
4	1	1	2	当日キャンセル	0	0	0	0
5	1	1	2	0	0	0	0	0
6	2	2	3	0	1	3	0	0
7	3	2	1	0	1	2	0	0
8	0	0	0	0	0	0	0	0
9	2	2	1	2	1	3	0	0
10	2	2	3	0	0	0	1	3
11	0	0	3	0	0	0	1	2
12	1	1	2	0	1	2	0	0
1	0	0	2	0	0	0	0	0
2	1	1	2	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	13	12	21	2	4	10	2	5

### 6. 平成30～令和5年度長期休業日数、児童数

年度	区分	1月	3月	4月	7月	8月	12月	合計
30	日数	2	8	3	3	11	1	28
	延人数	16	87	34	37	130	6	310
	平均人数	8	11	11	12	12	6	60
元	日数	3	19	3	3	10	1	39
	延人数	38	254	50	59	175	12	588
	平均人数	13	13	17	20	18	12	93
2	日数	4	9	10	0	11	1	35
	延人数	15	76	46	0	222	3	362
	平均人数	4	8	15	0	20	3	50
3	日数	3	10	3	5	10	2	33
	延人数	16	117	25	104	136	13	411
	平均人数	5	12	8	20	14	7	66
4	日数	3	11	3	5	10	2	34
	延人数	19	194	65	143	159	26	606
	平均人数	6	18	22	29	16	13	104
5	日数	2	9	3	6	11	3	34
	延人数	9	157	77	170	220	41	674
	平均人数	5	17	26	28	20	14	20

## 7 とちのみ保育園

### (現状・評価)

<p>&lt;現状と評価&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育指針の改訂により子どもの主体性を重視した保育活動に取り組んでいるが、保育士によって「主体性」の認識に違いが生じていたため園内研修を実施して「主体性」の共通理解を図った。しかし、保育士によって技量に差があるため、クラス活動等実際の保育では差が出てしまう場面もあった。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の5類移行により行事の開催も通常に戻った。コロナ禍をきっかけとして行事の見直しを図ったため、コロナ禍前よりも行事の負担は軽減している。なお、1月に新型コロナウイルス感染症が園内でまん延したため、クラス閉鎖及び2日間の休園措置をとり特別希望保育を実施した。2月のインフルエンザまん延時はクラス閉鎖のみ行った。</li> <li>・ドキュメンテーション（写真を取り入れた表現方法）を用いた回覧やおたより等の作成を行うことが定着化し、保護者や地域の方に園や子どもの様子が伝わりやすくなっている。</li> <li>・保小連携について、令和5年度幼年教育教育課程研究協議会の会場及び発表園になったことで、保小連携のあり方を見直すきっかけとなり、保育園から小学校にスムーズに移行できるよう職員同士が積極的に話し合ったり、子ども達がわかりやすいように動画を用いて小学校の様子を伝える等の取り組みを行った。</li> </ul>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### (課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士の技量に差があるため、クラス活動等実際の保育に差が出てしまうことがある。引き続き研修や実務をとおして保育士一人一人の資質向上に努めていきたい。また、クラス間での保育に差がないよう保育士相互の話し合いの機会を持ち、横の連携をとっていきたい。</li> </ul>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### ○運営費関係

保育所運営費は、下表のとおり69,716,345円で、その内人件費は79.23%の55,238,379円となっている。歳入については、保育料及び諸収入が全体の3.64%、村負担は95.89%となっている。延長保育利用者は年々増加しており、午後4時半以降も利用している園児は多くいる。

#### (1) 園児数（令和6年3月末現在）

定 員		80名
入所	未 満 児	14名
	3 歳 児	10名
人 員	4 歳 児	17名
	5 歳 児	16名
	計	57名

#### (2) 運営費

項 目		決 算 額	比 率
歳 入	保育料・延長保育料	1,542,045円	2.21%
	国補助金	164,000円	0.24%
	県補助金	157,000円	0.23%
	村負担分	66,855,650円	95.89%
	諸収入	997,650円	1.43%
	歳 入 合 計	69,716,345円	100.00%
歳 出	保育所運営費	69,554,876円	99.77%
	(内人件費相当分)	54,955,579円	78.82%
	施設管理費	161,469円	0.23%
	歳 出 合 計	69,716,345円	100.00%

#### (3) 保育内容

○保育日数：292日

○通常保育：平日 午前8時30分～午後4時30分

○希望保育：土曜日 午前8時30分～午後1時00分

○延長保育

・平日：早朝保育 午前7時30分～午前8時30分  
延長保育 午後4時30分～午後6時30分

・延長保育料：30分（1単位 50円：減免規定有）

・徴収額：129,525円

・利用人数：19名（延べ利用人数126名、月平均10.5名）

・登録世帯：34世帯

## 8 子育て支援センター

### (現状・評価)

- ・出生数が減少していることと子どもが1歳になると保育園に入園させて仕事復帰する家庭が増えているため、支援センターを日常的に利用する家庭は減少している。
- ・支援センターの利用者は減少しているが、一時保育の利用者はあまり減少していない。一時保育の利用目的として、保護者自身がリフレッシュ目的で一時的に保育から離れることを目的とした利用が増えていると考えられる。

### (課題)

- ・日常的な利用者は減少傾向にあるため業務の内容の見直し検討や新たな事業展開（妊娠期支援など）を考えていきたい。
- ・保育園に入園させず家庭で育児をされている方への支援を充実させるよう検討を進めたい。

### ○利用状況

子育て支援の中心となる子育て支援センターみやのもりでは、通常の利用者の他、各種講座（ベビーマッサージ・救急法・ママ塾・子育てサロン・歯科、栄養指導）等を実施している。運動教室やリトミック教室は保育園の未満児も参加できるように、とちのみ保育園の遊戯室で行うようにし、園児とセンター利用児双方が楽しめるよう工夫して行っている。また、母親の心の負担を軽減させるために外部の相談員をお願いし、子育て支援センターの利用者・保育園の保護者を対象に、コーチングカフェ（個別相談）を平成30年度から開催し、年々定着し年3回定期的に開催しているが、それ以外にフォローが必要なため、1～2ヶ月に1度個別相談を実施している。個別相談は継続的な支援が必要なため、対象者を子育て支援センターの利用者だけでなく保育園の保護者まで拡大し、保育園卒園以後は保健師の相談事業に引き継ぐ形で継続した相談事業が行えるようになっている。

年2回開催しているおさがり会は、コロナ禍は対象を村内者のみに限定して行うなど対策を取っていたが、現在は従来通り村外者も参加できるようにし、延べ86組169名の参加があった。

一時預かり事業については令和元年度から平日だけでなく土曜日・特例日も行うようになり（午前8時30分～午後1時30分）令和5年度の一時保育における利用者は236名であった。利用理由としては「用事があるから預けたい」という理由の他に、近年はリフレッシュを目的とした利用が多くなっている。

### (1) 子育て支援センター関係

- 開所日数：238日《内、土曜日49日》（一時保育を含む）
- 利用総人数：1081名（一時保育を含む）
- 利用登録世帯数：39世帯（村外者一時保育登録料 1世帯2,000円）
- 1日平均利用者：4.5名
- 令和5年度一時保育村外者登録料 総額：4000円

### (2) 一時保育関係

- 実施日数：126日
- 利用総人数：236名
- 利用総時間：1111時間
- 利用料総額：370,300円

### (3) 子育て支援センター運営費

項 目		決 算 額	比 率
歳 入	国補助金	3,692,000円	24.37%
	県補助金	3,397,000円	22.42%
	村負担分	7,688,771円	50.74%
	利用料(登録料含む)	374,300円	2.47%
	歳入合計	15,152,071円	100.00%
歳出	運 営 費	15,152,071円	100.00%
	(内人件費相当分)	14,183,347円	93.60%
	歳出合計	15,152,071円	100.00%

(4) 令和5年度子育て支援センターみやのもり利用状況

月	開所 日数	利 用 総人数	利用者 無し日	なかよし広場（開放）			一 時 保 育					
				平日	土曜日	累計	日数	人数	総時間	時間外		
										日数	人数	時間
4月	20	54	8	19	0	19	12	19	40.0	0	0	0.0
5月	20	75	5	33	0	33	18	35	135.5	0	0	0.0
6月	22	155	8	29	0	29	14	28	135.0	0	0	0.0
7月	19	53	6	22	0	22	7	13	89.0	0	0	0.0
8月	18	70	10	27	0	27	9	12	107.5	0	0	0.0
9月	20	123	7	30	0	30	9	18	67.0	0	0	0.0
10月	21	203	8	29	0	29	10	26	116.5	1	1	2.0
11月	20	107	7	14	0	14	14	25	116.5	0	0	0.0
12月	20	73	6	10	0	10	12	24	106.0	0	0	0.0
1月	19	37	10	26	0	26	9	9	45.5	0	0	0.0
2月	19	53	7	24	0	24	8	13	68.0	0	0	0.0
3月	20	78	8	41	0	41	7	14	84.5	0	0	0.0
累 計	238	1,081	90	304	0	304	129	236	1111.0	1.0	1	2.0

月	行 事							累計 (人)
	教育委員会 共催講座	園開放	年齢別 広場	子育て サロン	各種 講座	ちびっこ 会	その他 (おき語り会・託 児など)	
4月	/	/	16	0	/	/	/	16
5月	/	/	/	0	7	/	/	7
6月	/	/	11	0	11	/	76	98
7月	/	/	16	2	0	/	/	18
8月	/	/	/	2	39	/	/	41
9月	/	/	13	2	54	6	/	75
10月	/	/	/	2	53	/	93	148
11月	/	/	17	2	33	8	8	68
12月	/	/	26	2	11	4	/	43
1月	/	/	/	0	2	/	0	2
2月	/	/	2	0	14	/	/	16
3月	/	/	4	0	23	/	/	27
累 計			105	12	247	18	177	559

9 教育委員会関係委員名簿

○教育委員

教育長	青木 信一
職務代理	永島 芳晃
委員	川口 明
委員	栗屋 佳洋
委員	奥谷 妙恵子

○学校評議員

安原 和広	連合自治会長
奥原 利明	民生児童委員協議会長
柳川 浩司	学識経験者
笹川 岩夫	元PTA会長
奥原 都美	現PTA代表

○社会教育委員

代表	村井 千秋
委員	原 悦子
委員	辺見 元孝
委員	奥原小百合
委員	寺平 單
委員	田上 利久
委員	手塚 俊彦

○公民館運営審議会委員

委員	木山澤福夫
委員	原 悦子
委員	辺見 元孝
委員	奥原小百合
委員	寺平 單
委員	田上 利久
委員	手塚 俊彦

○公民館

本館	公民館長	村井 千秋
藪原分館	分館長（副公民館長）	田中 寛幸
	副分館長	小林 さつき
	主事	岩原 大輔
小木曾分館	分館長（副公民館長）	青木 利徳
	主事	奥原 佑介
菅分館	分館長（副公民館長）	加藤 幸司
	主事	田下 由豊
わら原分館	分館長	田上 利久
	主事	青木 求
吉田分館	分館長	松原 浩昭
	主事	中村 亮一

○文化財保護審議会委員

会長	柳川 浩司
副会長	松原 秀幸
委員	北川 聡
委員	湯川 喜義
委員	久保畠賢一
委員	奥原 由孝
委員	青木 正洋
委員	相渡 弘
委員	青木 武弘

○スポーツ推進委員

辺見 元孝
寺平 單
原 智恵
奥原 健
五月日 実
岩原 拓磨
林 翔太
工藤 春香
奥谷 妙恵子

1.1 木祖村教育委員会・公民館学級講座（社会教育）

講座名	区分	開催日	内容	講師	対象者	登録人数	各参加人数	延人数	参加費	会場	事業費	備考	開催回数	登録人数	延人数
音楽教室	一般	5/24(水) 11/15(水)	歌って元気はつらつ	青木 瑞穂	村内一般	30	大11、子4 大10、子5	30	0円	村民センター	16,000	【CS】すくすく大学共催(予定)	2	13	25
県内研修(北信)	一般	9/8(金)	高橋まゆみ人形館と手すき和紙づくり		村内一般	18	18	18	4,000円	飯山市	0	高橋まゆみ人形館 内山手すき和紙体験工房	1	13	12
物づくり体験① お六橋づくり	一般	7/25(火)	お六橋づくり	北川 聡、柳川 浩司	村内一般	10	大9、子1	10	2,000円	村民センター	64,000	新入職員00のため役場新人研修 の位置づけは無し	1	9	9
【新発】 絵画入門講座	一般	6/14,21,28(水)	水彩画の描き方を基本から学んでみよう	坂口 佳奈	村内一般	6	6、6、6	18	1,000円	村民センター	0	総具代1,500円	-	-	-
絵てがみ教室	一般	7/12,19,26(水)	絵手紙で水彩・水墨画に挑戦	坂口 佳奈	村内一般	6	6、6、6	18	1,000円	村民センター	0	総具代2,500円	3	8	22
ふるさと発見講座	一般	8/3(木)	木祖村の文化財や歴史をめぐる	文化財保護審議委員	村内一般、小中学生	大5、子14	大5、子14	19	0円	村内	8,000	【CS】【人権】すくすく俱樂部共催	1	大2 子16	18
手話入門講座	教養	10/21(土)	簡単な手話を学ぼう	中澤久美香、柳川 悦子	村内一般、中学生	大9、子3	大9、子3	12	0円	村民センター	18,100	【CS】【人権】すくすく大学共催	1	7	7
県内研修② (中学生と平和学習)	一般	10月19日(木)	松代象山地下壕、上田無言館	飯島 春光	村内一般	大11、子18	大11、子18	19	5,000円	松代町、上田市	0	【CS】【人権】	1	19	19
平和と人権学習会	中学生 一般	11/16(木)	映画「アオギリにたくして」上映会		村内一般、中学生	-	大35、子52	87	0円	中学松体青館	0	【CS】【人権】	-	-	-
物づくり体験② X'masフワアレンジ メント	一般	12/13(水)	クリスマスを彩るお花の作品を作ってみよう	林 愛子	中学生、村内一般	大7、子9	大7、子9	16	1,000円	村民センター	29,000	【CS】すくすく大学共催	1	大5 子18	23
物づくり体験③ 松本てまり	一般	-	本場松本城下町で松本手毬を作ってみよう	高木 利子	村内一般	中止			2,000円	松本市	40,000	土産処たかぎ	中止	中止	中止
陶芸教室	趣味	6/8,15,22 7/13,20,27 8/17,24 9/14,21,27	自分だけの作品づくり 村の展示会、郡シニア作品展にも出品	奥原 利明	村内一般	11	6,8,7,6,10,8,9	54	3,000円	小学校園工室	153,550		9	9	56
	小学生	6~7月	自分だけの作品づくり 村の文化祭展示会にも出品		小学5、6年生	40	40	80	0円	0円		16,000	【CS】【人権】	2	42
農業体験講座 (トウモロコシ)	一般 小中学生	5/28~8/18	村の特産品づくりを目標して多世代で共同 作業 畝づくり、播種、収穫	奥原 辰男	村内一般、小中学生	大16、子21	大16、子21	37	1,000円	翁備さん畑	47,954	【CS】【人権】すくすく俱樂部共催	3	大6 子18	24
ブックスタート	家庭	10ヶ月健診時	絵本の配布	NPO法人ブックスタート	乳児検診受診親子			6	0円	保健センター	51,282	住民福祉課共催	-	-	10

※【CS】…コミュニティスクール事業

※【人権】…人権教育対象事業

木祖村教育委員会・公民館学級講座（社会体育）

講座名	区分	開催日	講師	対象者	登録・参加人数	内容	会場	備考
すくすく倶楽部	体育他	4月～3月	辺見元孝	小学生 中学生	小学生72名 中学生5名	学校体育の延長としての運動教室及び体験事業等	小学校体育館他	別紙参照
シェイプアップ教室	健康	5月～7月	辺見元孝	村民一般	16名	効率の良い運動で脂肪の燃焼を目指す	まめのわ	10回開催 源流スポーツ大学
体力アップ教室	健康	8月～10月	辺見元孝	村民一般	17名	個人の能力に応じた運動により体力増進	まめのわ	10回開催 源流スポーツ大学
エアロビ教室	健康	5月～9月	平井峰子	村民一般	17名	エアロビクス	小学校体育館	10回開催 源流スポーツ大学
ヨガ教室	健康	5月～10月	宮原里菜子	村民一般	23名	ストレッチヨガ	まめのわ	12回開催 源流スポーツ大学
水中運動教室	健康	4月～3月		村民一般	10名	水中運動	木曾町温水プール	20回開催 源流スポーツ大学
社会体育館開放	健康	12月～3月		村民一般		冬季ウォーキング用に社会体育館開放	社会体育館	源流スポーツ大学
源流TC	体育	通年	教育委員会	小4～6年 中学生	35名 15名	陸上大会及び体力アップをめざした練習	小学校校庭 小・中学校 体育館	
村民体育祭 ゴルフ	体育	10月29日		村民一般			木曾カントリー	
第65回木曾 川源流村内 一周駅伝大 会	体育	11月3日		村民一般	選手100名 補欠38名 監督15名 役員99名	村内一周を繋ぐ、伝統の駅伝大会	村内一円	

すく～る・スキー

No	開催日	タイトル	場所	内 容	参加児童	jrリーダー
1	5月13日(土)	すく～る(全学年)①	小学校体育館	学校体育授業の補助として開催しました。	31	1
2	5月27日(土)	すく～る(全学年)②	小学校体育館	〃	32	0
3	6月3日(土)	すく～る(全学年)③	小学校体育館	〃	22	0
4	7月15日(土)	すく～る(全学年)④	小学校プール	〃	31	0
5	7月22日(土)	すく～る(全学年)⑤	小学校プール	〃	31	0
6	8月26日(土)	すく～る(全学年)⑥	小学校体育館	〃	12	0
7	9月2日(土)	すく～る(全学年)⑦	小学校体育館	〃	20	0
8	9月9日(土)	すく～る(全学年)⑧	小学校体育館	〃	20	0
9	10月7日(土)	すく～る(全学年)⑨	小学校体育館	〃	17	0
10	1月13日(土)	スキー教室 (低学年)	やぶはら高原スキー場	〃	11	0
11	1月20日(土)				11	0
12	1月27日(土)				7	0

245 1

物づくり体験

No	開催日	タイトル	場所	内 容	参加児童	jrリーダー
1	6月10日(土)	木の枝ペンを作ってお手紙を送ろう (午前1・3・5、午後2・4・6年)	老人福祉センター	木祖村で伐採された木の枝でボールペンづくり。作ったペンで日進市の子どもへ手紙を送ろう。	36	3
2	6月25日(日)	サンドブラスト体験 (午前低学年・午後高学年)	村民センター	人気講座！グラス等にオリジナルの模様を付けます！	中止	
3	8月6日(日)	絵画教室 低学年 (イベント実行委員会共催)	村民センター	自分で描いた絵を日曜画家展に出展しよう！	14	3
4	8月9日(水)	太陽エネルギーでソーラー馬車走してみよう (午前1・3・5、午後2・4・6年)	村民センター	太陽光パネルを搭載した木製のソーラーカーを組み立て、着書・装飾し走らせてみよう！	38	5
5	8月19日(土)	絵画教室 高学年 (イベント実行委員会共催)	村民センター	自分で描いた絵を日曜画家展に出展しよう！	21	0
6	10月14日(土)	旅する木製フォトフレームを作ろう (午前1・3・5、午後2・4・6年)	村民センター	木曾産材料を使い、木工技術に触れながら、フォトフレームを作ろう！	28	0
7	11月11日(土)	クッキング①(1・3・5年生)	小学校調理室	家庭でも出来る手軽な料理づくりに挑戦	13	0
8	11月18日(土)	クッキング②(2・4・6年生)	小学校調理室	家庭でも出来る手軽な料理づくりに挑戦	21	3
9	12月2日(土)	木曾五木のクリスマスツリーを作ろう (午前1・3・5、午後2・4・6年)	村民センター	木曾五木を見て、触って、嗅いで、削って、切る。五感で体験しながらクリスマスツリーを作ろう。	36	3
10	2月17日(土)	閉講式&Myアプローチを作って紹介しよう (午前1・3・5、午後2・4・6年)	村民センター	木製の土台に糸や布、りぼん、シールなどを用いて装飾し、Myアプローチを作ろう！	41	5

248 22

野外活動・体験

No	開催日	タイトル	場所	内 容	参加児童	jrリーダー
1	4月22日(土)	開講式・レクリエーションゲーム	小学校体育館	開講式と、レクリエーションゲームを行います。	47	2
2	8月3日(木)	ふるさと発見講座 (高学年)	村 内	木祖村をもっと知ろう！	14	0
3	8月11日(金)	カヌー体験(PTA共催)	奥木曾湖	奥木曾湖でカヌーに乗ります。水遊びも可能！	33	5
4	8月18日(金)	とうもろこし収穫体験	藪原翁増地区	木祖村で育った”あま〜い”とうもろこしの収穫をしよう！	21	0

115 7

合計26回開催(1回中止)	608	30
---------------	-----	----